

2. 保護継電器整定一覧表

記入例 KP59R-KS-A

本資料は、各電力会社の標準整定値を元に設定可能な値を記載しています。また、“—” 付きの項目は出荷時設定から変更が必要な項目です。系統連系前に確実に設定してください。

下記の項目について、記入してください。

(認証登録を受けていない装置については、保護継電器に係わる詳細説明資料および各種試験データを添付してください。)

逆潮流 有無	種 別	検出レベル	整定範囲	標準整定値	お客さま希望 整 定 値	検討整定値	備 考
○ ○	過電圧継電器 OVR	検出レベル	110.0,112.5,115.0,120.0 (V)	115V/230V	115.0 (V)		
○ ○	不足電圧継電器 UVR	検出レベル	80.0,85.0,87.5,90.0 (V)	80V/160V	80.0 (V)		
○ ×	周波数上昇継電器 OFR	検出レベル	50.5,51.0,51.5,52.0 (Hz)	51.0Hz/61.2Hz	51.0 (Hz)		
○ ○	周波数低下継電器 UFR	検出レベル	47.5,48.0,48.5,49.0,49.5 (Hz)	48.5Hz/58.2Hz	47.5 (Hz)		
× ○	逆電力継電器 RPR	検出レベル	0.5,1.0,1.5,2.0 (S)	定格出力の 5%程度	→ 1.0 (秒)		
× △	逆充電 検出機能	検出レベル	最大受電電力の 3%程度	1秒			時限 ゲートブロッカ 0.2秒 遮断出力 0.6~0.8秒
○ ○	直流検出機能	検出レベル	80V/160V	1秒			
○ ○	自動電圧 調整機能	検出レベル	定格出力電流の 1%以下 0.5秒以下	107.5V	147.5(mA) 0.5 (秒)		
○ ○	進相無効電力制御	制御電圧	107.0,107.5,108.0,108.5,109.0,109.5,110.0,110.5, 111.0,111.5,112.0,112.5,113.0 (V)	107.5V	109.0 (V)		※有効電力制御のみ
○ △	【受動的方式】 周波数変化率検出方式	検出レベル	整定タップなし	欄外参照	0.5 (秒)		
○ ○	【能動的方式】 ステップ注入付周波数フィード バック方式	検出レベル	整定タップなし	欄外参照	瞬時		
○ ○	復電後の遮断器再投入時限	待機時間	150,200,300,2 (S)	150~300秒	300 (秒)		
○ ○	FRT要件		対応していること				平成29年4月1日以降申込みされる太 陽光連系については、事故時運転継続要 件(FRT要件)を満たすことが必須

○ … 設置要

× … 設置不要

△ … どちらか一方を設置

受動的方式	検出基準	検出時限	保持時限
電圧位相跳躍検出	位相変化 ±3~±10度	0.5秒以内	5~10秒
3次高調波 電圧歪急増検出	3次高調波変化 +1~+3%	0.5秒以内	5~10秒
周波数変化率検出	周波数変化 ±0.1~±0.3%	0.5秒以内	5~10秒

※ 単独運転検出機能の標準整定値

能動的方式	変動幅	検出要素	解列時限
周波数シフト	周波数バイアス: 定格周波数の数%	周波数異常	0.5秒以上 1秒以内
スリップモード 周波数シフト方式	—	周波数異常	0.5秒以上 1秒以内
有効電力変動	有効電力: 運転出力の数%	電圧、電流、周波数 などの周期変動分	0.5秒以上 1秒以内
無効電力変動	無効電力: 定格出力の数%	電流、周波数などの 周期変動分	0.5秒以上 1秒以内
負荷変動	挿入抵抗: 定格出力の数%	電圧及び負荷への流 入電流の変動分	0.5秒以上 1秒以内
ステップ注入付周波数 フィードバック方式	挿入時間: 1周期以下 —	周波数変動	瞬 時